



10月

しまぐみだより



ほろむい認定こども園
とこたん
R3.10.29

3歳児ってこんな時期③

とこたん山から 見えたもの

とこたん山での遊びが盛り上がりを見せています。
 「見て」「聞いて」「感じて」「考えて」遊んでいる姿がたくさん見られ、
 “こどもってこうして多くの事を習得して、また次の一歩へつなげているのだよ”
 と改めて実感している保育士です。
 毎日の遊びは継続されたり変化したり、発展したり。一人ひとり、
 楽しみ方は違いますが、皆、目的を持って遊んでいるのです。
 「まだお部屋に入らない!!」と頑張る保育士に訴える気持ちが、よくわかります。

遊 - 学 - び - 成長のつながり



「うま、おもしろい、てんやてんや」



「これをつかって、うまいくかすよ」



「しましま、こうするんだよ」

受け入れ理解
 ・自分の力量がわかった
 ・今やる事を楽しむ

あきらめ
 ・やめよう
 ・気持ちの切り替え
 ・他人の興味

失敗
 ・小布いぼ
 ・危ないよ
 ・痛かった



「役割分担しよう」

考える
 ・先生に手伝ってもらおう
 ・友達のを見よう
 ・もう一度勇気を出してみよう

みる、きく
 ・楽しそう
 ・できるかな
 ・やってみよう
 ・ドキドキ

新たな興味、意欲 ↑

挑戦

成功
 ・できた!
 ・おもしろい
 ・自信がついた

再挑戦

繰り返す
 ・もう一回!
 ・楽しさが増す
 ・先生見て!



「どうやってあげようか...」



「じゅんじゅんはいいー?」「みず、たごよー」「あー、きたきたー」



「せんせーのほりたいたいだー!」「ちおとこワいの」



「いっしょにのれるよー」

“自分でできる事、友達や大人がしている事が気に入ら、同じ事をやってみたい!!”
 そんな気持ちが増えてくるのがこの年頃。こどもはたくさん失敗。そしてその失敗を乗り越えた成功を以て、自信をつけしていきます。失敗がなければ成功も存在しないのです。
 こども、気を付けたいのが大人の過剰な干渉や介入、援助です。
 大人がこどもの成長に過剰に対処すると、“どうしたら失敗しないのか、どの選択が正しいのか”を考え、行動する経験値ができません。自分に自信が持てにくくなります。その為、その判断を人に委ねてしまいます。又、嫌な事をされてもどうして良いのかわからなくなってしまう等。
 他人に対して正当な自己主張をする事も難しくなります。

大人が見ている、もどかしかったり、助けてほしい!と思う場面も多々ありますが、こども達を信じ、その先の成長に期待をもち接していきたいですね。関わり方のポイントを紹介し、Point

- ★ (人ひとりの)こどもの気持ちを受容し、自分の気持ちや考えを安心して表せる様に
- ★ こどものやりたい事をさせてみて、できた時は十分に認め、共に喜ぶ。
- ★ できたかったところは途中まで手伝い、できると思えるところは残しておき、挑戦。できた!の達成感へ

散歩に行く時「先生と手を繋ぎたい」と言ってくれたSくん。手を繋ぐと、何か手がモヨモヨと、赤い汗ばきになりました。「あれ?」と思っつなぎ直すと、また赤い汗ばきにするSくん。正にキレる!とした瞬間でした。

明日は欠席するというHくん。「先生、Hくん、明日お休みのから。先生、寂しいよ?こめんね。寂しいけどまた来るからね。」とても優しいHくんです。

年中生中、Aくんの体トトト、入眠の補助をしていますが、入眠したと思いき、側を離れると、おくと顔を上げ、キョロキョロと保育士を見つめるAくん。また「眠ってないからたようですね。いるよ。側には」

公園で走っている女の二人にカメラを向けているとHちゃんか一言。「おんな止まって!先生写真撮っているから!」。気を使っているありがとうね! いいよ、そのままで♡

年中生中、Aくんの体トトト、入眠の補助をしていますが、入眠したと思いき、側を離れると、おくと顔を上げ、キョロキョロと保育士を見つめるAくん。また「眠ってないからたようですね。いるよ。側には」

「せんせーのほりたいたいだー!」「ちおとこワいの」

「じゅんじゅんはいいー?」「みず、たごよー」「あー、きたきたー」

「いっしょにのれるよー」

おねがい

- ・置き靴のサイズが小さくおいているお二さんがいます。御確認を。
- ・お部屋のウォールポケットには、大切なお便りを配布している事がありますので、たれずにお持ち帰り下さい。よろしくお願ひ致します。